Genie®

操作説明書
メンテナンス情報付属

Second Edition
Third Printing
Part No. 82510JA

GS™-1530
GS™-1532
GS™-1930
GS™-1932

重 要

本機械を操作する前に、操作説明書の中の安全規則と操作指示をよく読み、理解し、従ってください。
トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 本説明書は機械の一部とみなされ、常に機械と一緒に置かれていなければなりません。 質問がございましたら Genie Industries までご連絡ください。

目 次

ページ
安全規則 1
説明 8
操作 9
操作前の点検 11
メンテナンス 13
機能テスト 15
作業場の点検 19
操作手順 20
ステッカー 24
輸送およびリフトの手順 28
仕様 31

お問合せ先 :

インターネット : http://www.genielift.com
電子メール : techpub@genieind.com

Copyright © 1997 Genie Industries

初版 : 第 11 刷 2002 年 1 月

第 2 版 : 第 3 刷 2004 年 7 月

「Genie」は米国およびその他の国における Genie Industries の登録商標です。
「GS」は Genie Industries の商標です。

♻ 再生紙使用 L

Printed in U.S.A.

安全規則

危険

本説明書の操作指示と安全規則に従わない場合は、重傷または死に至ることがあります。

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

次のセクションに進む前に、安全規則を理解し、心得てください。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

☑ 製品使用説明書と安全規則 - 安全マニュアルおよび操作説明書と機械ステッカーをよく読み、理解し、それに従う。

☑ 従業員の安全規則と作業場所の規則をよく読み、理解し、それに従う。

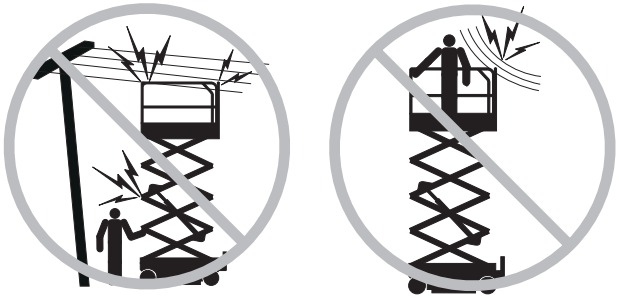
☑ 適合する全ての法規をよく読み、理解し、それに従う。

☑ 使用者が、安全な機械操作を実施するための適切なトレーニングを受けている。

安全規則

感電の危険

この機械は**絶縁されていないため**、電流に接触したり接近すると**危険です**。



適合する法規および次の表に従って、電線や機械から安全な距離を保持してください。

電圧範囲	**安全上最低確保する距離 メートル**
0～300V	接触を避ける
300V～50KV	3.05
50KV～200KV	4.60
200KV～350KV	6.10
350KV～500KV	7.62
500KV～750KV	10.67
750KV～1000KV	13.72

作業台の動きや電線の揺れ・たるみを考慮し、強風および突風に注意してください。

通電している電線に機械が接触している場合、機械に近づかないでください。 地上もしくは作業台の従業員は、電線の電気が止められるまで、決して機械に触れたり操作しないでください。

雷や暴風時は機械を操作しないでください。

溶接するときに、機械にアースを接地しないでください。

転倒の危険

作業員、装備、および機材は、作業台最大積載荷重量または作業台延長の最大積載荷重量を超えてはなりません。

最大積載荷重量 - GS-1530 および GS-1532	
作業台収縮	272 kg
作業台延長 - 作業台のみ 作業台延長 - 延長台のみ	159 kg 113 kg
最大定員 - GS-1530, ANSI および CSA	2
最大定員 - GS-1532, Australia 野外使用 屋内使用のみ	 1 2
最大定員 - GS-1530, Australia 屋内使用のみ	 2

272 kg

延長台のみ 113 kg　作業台のみ 159 kg

最大積載荷重量 - GS-1930 および GS-1932	
作業台収縮	227 kg
作業台延長 - 作業台のみ 作業台延長 - 延長台のみ	113 kg 113 kg
最大定員 - GS-1930, ANSI および CSA	2
最大定員 - GS-1932, Australia 野外使用 屋内使用のみ	 1 2
最大定員 - GS-1930, Australia 屋内使用のみ	 2

227 kg

延長台のみ 113 kg　作業台のみ 113 kg

機械がしっかりとした平坦な地面に設置されている場合以外は、作業台を上昇しないでください。

傾斜レベルの指標として、傾斜アラームに依存しないでください。 傾斜アラームは、機械が斜面上にある場合にのみシャーシで鳴ります。

傾斜アラームが鳴なった場合：
作業台を下げてください。 機械を安定した平坦な地面に移動してください。 作業台が上がっている状態で傾斜アラームが鳴った場合、細心の注意を払いながら作業台を下げてください。

リミットスイッチを変更したり、使用不能にしないでください。

作業台を上げたままの状態で時速 0.7 km 以上で走行しないでください。

強風や突風の中で機械を操作しないでください。 作業台や積載床面の表面を大きくしないでください。 風にあたる面積が増えるほど、機械の安定性が減少します。

水平でない不安定な地面など危険な状況で、作業台を上げたまま機械を走行しないでください。

収納した状態で、平らでない、障害物のある、不安定な場所、また滑りやすい場所を通って機械を走行しているとき、あるいはくぼみや急に低くなっている近辺で機械を走行しているときは、細心の注意をはらうとともに、機械を減速してください。

挟まったり、引っ掛かったり、近くの建造物によって通常の運行を妨げられた作業台を解放するときは、作業台操作を使用しないでください。 地上操作を使って作業台を解放する前に、作業員全員を作業台から降ろしてください。

作業台の外の物体を、押したり引っ張ったりしないでください。

GS-1530 および GS-1930 の最大外圧力 - ANSI & CSA	
2人	445 N
GS-1532 および GS-1932 の最大外圧力 - Australia	
2人	400 N
1人	200 N
GS-1530 および GS-1930 の最大外圧力 - Australia	
2人 屋内使用のみ	400 N

機械の部品を改造したり、使用不能にしないでください。 機械の安全性と安定性に影響します。

製造元の書面による許可なしに、高所作業台を変更したり改造したりしないでください。 道具などを固定する留め具を作業台、踏み板、もしくは手摺りに取り付けると、作業台の重量や、作業台や積載床面の表面を増大させます。

機械の安定性に重大にかかわる部品を、重量や仕様の異なるものと取り替えないでください。

安全規則

機械から荷物をぶら下げたり、取り付けたりしないでください。

工具や機材を運ぶ場合は均等に作業台に配置し、作業台で作業員が安全に使用できるようにしてください。

作業台にはしごや足場を組まないでください。また本機械のどの部分にも立てかけないでください。

機械を、移動中または移動する可能性のある地面、もしくは車両上で使用しないでください。

タイヤがすべて良好な状態で、みぞ付きナットが適切に締められ、コッターピンが適切に取り付けられていることを確認してください。

バッテリーは、工場出荷時に機械に搭載されているものより軽いものを使用しないでください。バッテリーはカウンターウェイトになっているため、機械の安定性に大きく影響します。 バッテリーの重量はそれぞれ 29.5 kg です。

機械をクレーンとして使用しないでください。

作業台で他の機械などの物体を押さないでください。

作業台を近くの建造物に接触させないでください。

作業台を近くの建造物につながないでください。

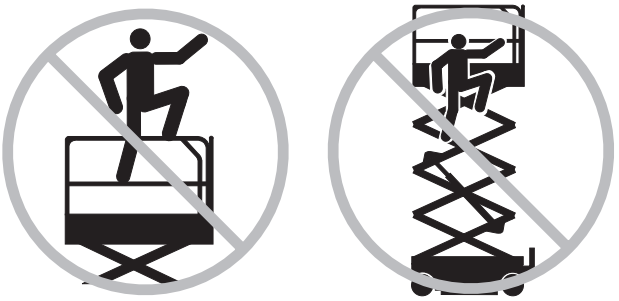
荷物は、作業台の周囲から突き出ないようにしてください。

シャーシ台を開けた状態で機械を操作しないでください。

落下の危険

手摺りは落下防止用です。 作業台の作業員が、作業場の規約や従業員規約によって落下防止装備 (PFPE) の着用を義務付けられている場合、PFPE 製品メーカーの指示や適合する法規に従って PFPEの装備と使用を行ってください。

作業台の手摺りに座ったり、立ったり、上ったりしないでください。 作業台の上では、常にしっかりとした足場を確保してください。



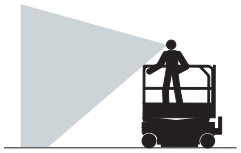
作業台が上がっている状態で、作業台から降りないでください。

作業台の床面は、常にきれいにしておいてください。

作業前に作業台に出入口チェインを取り付け、出入口ゲートを閉めます。

手摺りがしっかりと設置され、出入口がしっかりと閉められるまでは機械を操作しないでください。

衝突の危険



走行中や操作中は、視界の限度と死角に注意してください。

機械を移動する際は延長作業台の位置に注意してください。

ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めるか固定してから行ってください。

作業員は、安全装備の使用について、従業員規則、作業現場の規則、および適合する法規に従わなければなりません。

作業場において、頭上に障害物などの危険物がないことをチェックしてください。

作業台の手摺りにつかまっているときは、手にケガをしないよう注意してください。

作業台操作の色別方向矢印および走行とステアリング機能用の作業台ステッカープレートをよく見ながら、操作してください。

機械の操作する際に、無謀な走行を行ったり、むやみに騒いだりしないでください。

作業台の下に人がいないこと、および障害物になるものがないことを確かめてから作業台を下げてください。

地面の状態、まわりの混雑具合、傾斜、人の位置など、追突の要因となるものによって走行速度を制限してください。

クレーンなど頭上で作動している機械の軌道上で操作する場合は必ずクレーンがロックされ、衝突を防ぐための措置を行なってから操作を行なってください。

手のケガの危険

手や腕をシザースに近づけないでください。

地上から機械を操作する際は、常識的な判断をもって行ってください。 オペレータ、機械、固定された物体との間には、安全な距離を保ってください。

部品損傷の危険

溶接するときに機械にアースを接地しないでください。

安全規則

爆発と火災の危険

可燃性ガス、爆発性ガス、もしくは微粒子が存在する危険な場所では、機械を操作したり、バッテリーを充電したりしないでください。

故障機械の危険

損傷もしくは故障している機械は使用しないでください。

作業シフトの前に、機械の操作前の点検を完全に行い、すべての機能をテストしてください。 損傷もしくは故障している機械は、直ちに故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。

本説明書とサービスマニュアルに記載されているすべてのメンテナンスを必ず行ってください。

すべてのステッカーが適切な位置にあり、文字が読める状態であることを確認してください。

オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の上のマニュアル保管場所に置かれているようにしてください。

人体への傷害の危険

作動油や空気が漏れている状態で機械を操作しないでください。 空気や作動油が漏れた場合、皮膚に飛び散ったり、やけどを負う原因となります。

カバーされている部品に不適切に触れると、重傷を負うことがあります。 これらのコンパートメントへは、適切なトレーニングを受けたメンテナンス担当者以外は作業を行わないでください。 オペレータは、これらのコンパートメントについて作業前の点検のみを行ってください。 機械の操作中は、すべてのコンパートメントがしっかりと閉じられていなければなりません。

ステッカーの説明

Genie 製品ステッカーは、識別しやすいよう、下記のようなシンボル、色別コード、および警報言語を使用しています。

安全警報シンボル：作業員にケガの危険があることを知らせます。 ケガや死に至る危険を避けるために、このシンボルのあとに示された全ての安全警告に従ってください。

赤：差し迫った危険があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

オレンジ：危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は重傷または死に至ることがあります。

安全上の警告シンボルを伴った黄色：危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は小さなケガから中程度のケガを負うことがあります。

安全上の警告シンボルがない黄色：危険な状況になる可能性があることを示します。 この危険を回避しない場合は機械が故障することがあります。

緑：操作情報またはメンテナンス情報を示します。

バッテリーの安全管理

熱傷の危険

バッテリーには酸が含まれています。 バッテリーに作業を行うときは、常に保護服と保護メガネを着用してください。

バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水で中和してください。

充電中は、バッテリーや充電器を水や雨にさらさないでください。

爆発の危険

火花、炎、火のついたタバコなどをバッテリーに近づけないでください。 バッテリーは爆発性ガスを放出します。

バッテリートレイは、充電のすべてのサイクルが終了するまで開いたままにします。

バッテリー端末またはケーブル留め金に、電源に触れると火花を発する工具を接触させないでください。

部品損傷の危険

バッテリーの充電には、24V 以上の充電器を使用しないでください。

感電の危険

充電器は、接地されている AC 3 ピン電気コンセントにのみ接続してください。

コード、ケーブルおよび配線の損傷を毎日点検してください。 破損している部品は操作する前に取り替えてください。

バッテリー端末への接触による感電に注意してください。 指輪、時計、その他貴金属を全て外してください。

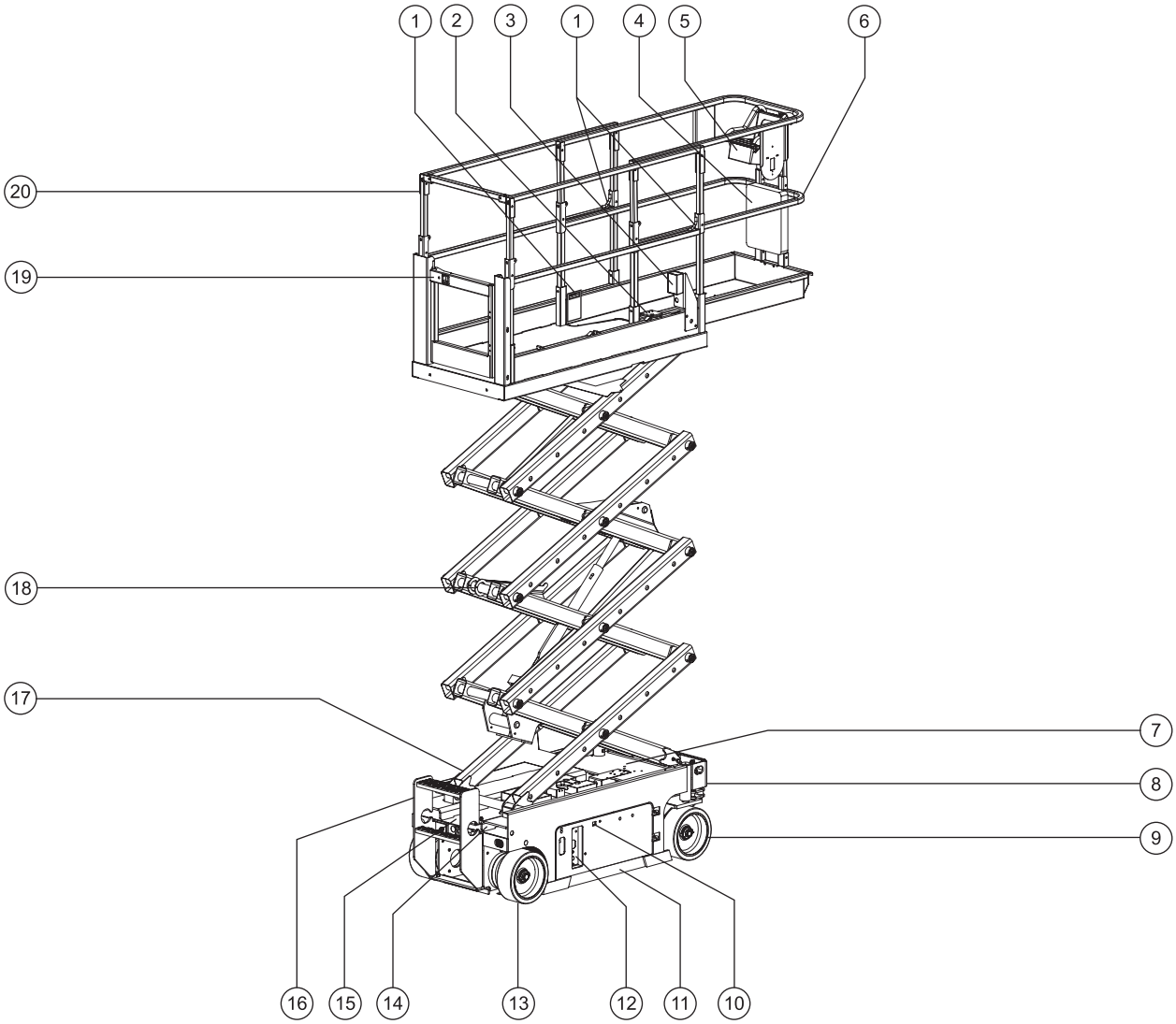
転倒の危険

バッテリーは、工場出荷時に機械に搭載されているものより軽いバッテリーを使用しないでください。 バッテリーはカウンターウェイトになっているため、機械の安定性に大きく影響します。 バッテリーの重量はそれぞれ 29.5 kg です。

リフトの危険

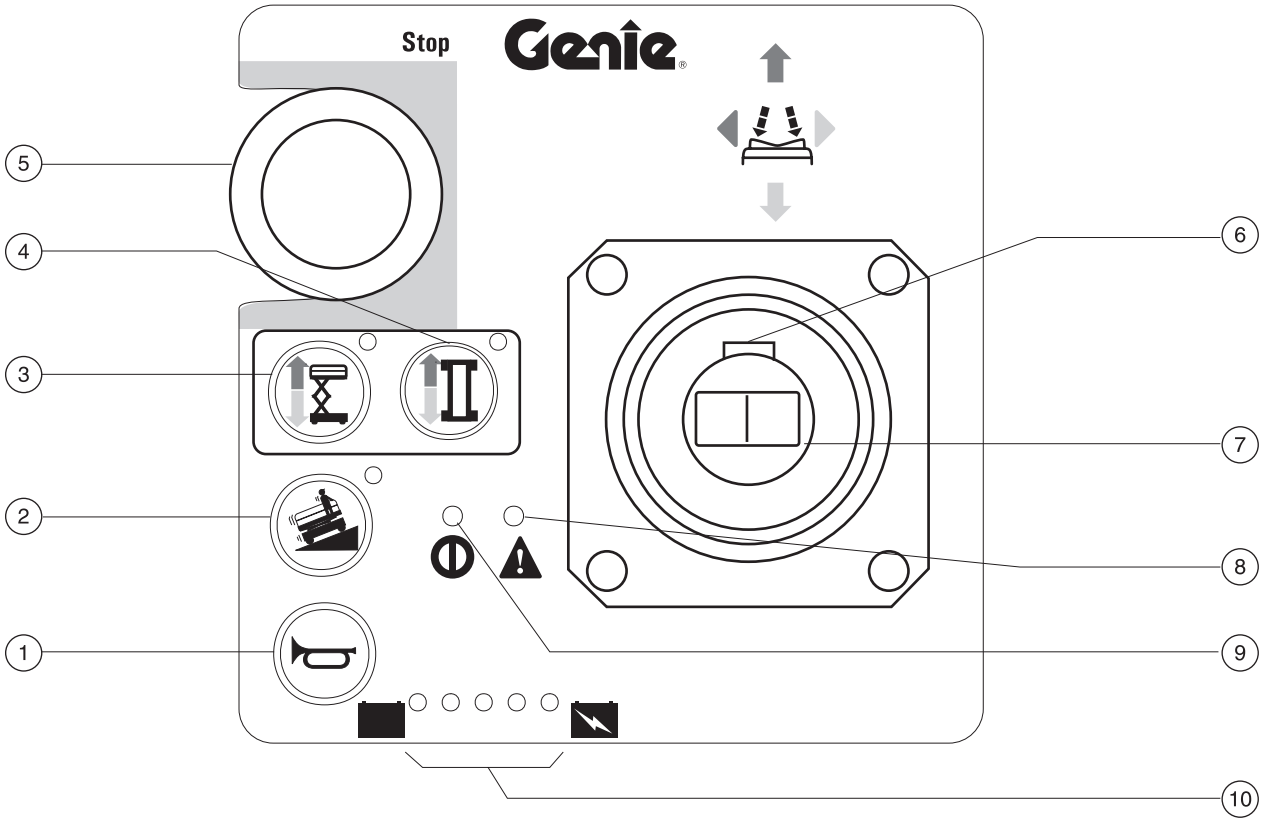
バッテリーを持ち上げるときは、適切な人数と手段で行ってください。

説明



1 安全帯固定箇所
2 作業台延長解除ペダル
3 GFCI コンセント
4 マニュアル保管場所
5 作業台操作
6 作業台延長部
7 傾斜アラーム (カバー下)
8 輸送用の荷締め
9 ステアリングタイヤ
10 LED 診断計測値
11 ポットホール・ガード
12 地上操作
13 非ステアリングタイヤ
14 補助下降ノブ
15 ブレーキ解除ポンプノブ、および解除ノブ
16 出入口はしご/輸送用荷締め
17 バッテリー充電器（機械の反対側）
18 安全アーム
19 作業台出入口チェインまたはゲート
20 作業台手摺り

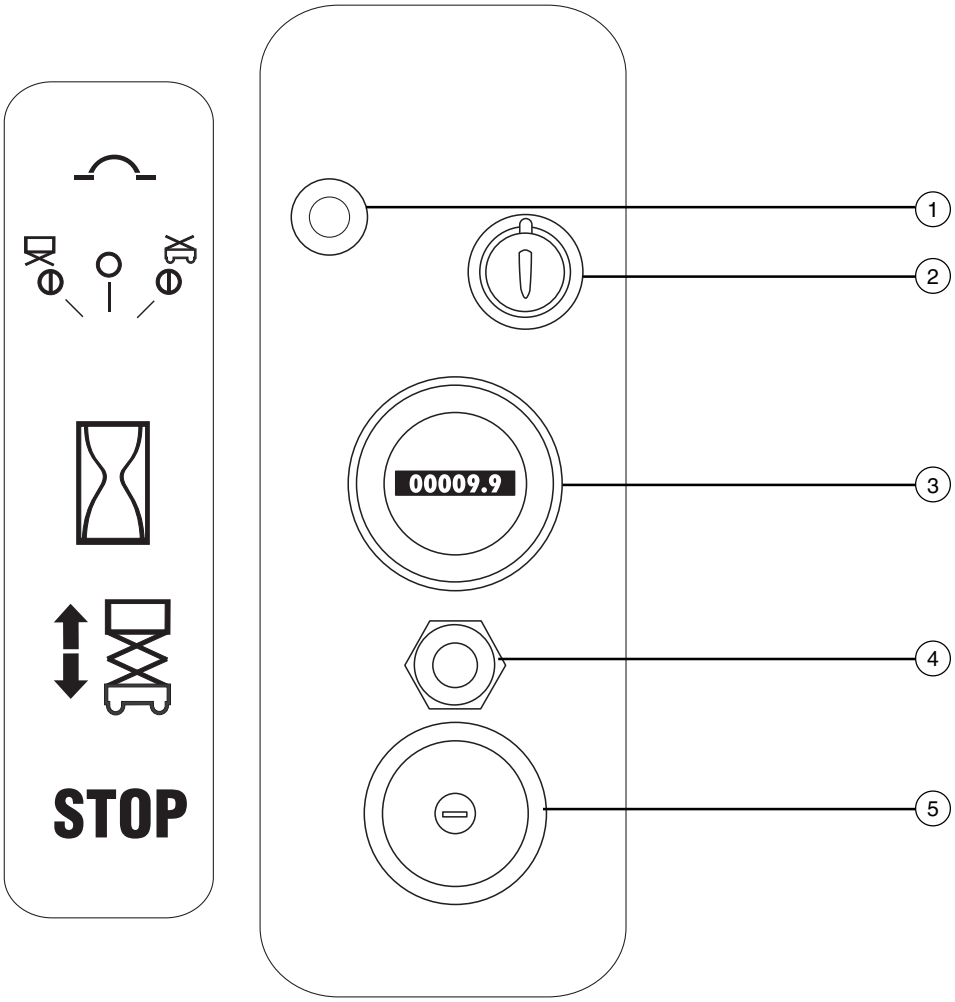
操作



作業台操作

1 ホーンボタン
2 非使用
3 リフト機能選択ボタン、表示ランプ付
4 走行機能選択ボタン、表示ランプ付
5 赤色非常停止ボタン
6 機能作動スイッチ
7 リフト・走行機能用比例コントロールハンドルとステアリング機能用ロッカー
8 エラー表示ランプ
9 電源ランプ
10 バッテリーレベル表示器

操作



地上操作パネル

1 電気回路用 7A ブレーカー
2 作業台/オフ/地上 セレクトキースイッチ
3 時間計
4 作業台上昇/下降切り替えスイッチ
5 赤色非常停止ボタン

操作前の点検

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

次のセクションに進む前に、操作前の点検についてよく理解してください。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作前の点検と規定のメンテナンスはオペレータが責任をもって行ってください。

操作前の点検とは、各シフトの前にオペレータが目で見て行う点検です。 この点検は、オペレータが機能テストを行う前に、目で点検して異常な箇所を見つけることを目的としています。

さらに操作前の点検によって、メンテナンスが必要かどうかを判断します。 オペレータは、この説明書に記載してあるメンテナンス項目のみを行なってください。

次のページのリストを参照し、それぞれの項目をチェックしてください。

損傷や、工場出荷時の状態から何らかの異変が発見されたら、機械に故障中の貼り紙をつけて使用を停止してください。

機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。 修理が終了したら、オペレータは、機能テストに移る前に再度操作前の点検を行ってください。

定期保守点検は、認定を受けたサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載されている要項に基づいて行ってください。

操作前の点検

- ❏ オペレータの安全と責任に関するマニュアルが完備され、読める状態で、作業台の保管場所に保管されているようにしてください。
- ❏ すべてのステッカーが、文字が読める状態で所定の位置にあることを確認します。「ステッカー」のセクションを参照してください。
- ❏ 作動油の漏れがなく、量が適当であるかチェックします。 必要に応じてオイルを足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- ❏ バッテリー液の漏れがないか、量が適当かどうかをチェックします。 必要に応じて蒸留水を足してください。「メンテナンス」のセクションを参照してください。

以下の部品もしくは部分が損傷していたり変更されていないか、きちんと設置されていなかったりなくなっている部品がないかチェックします。

- ❏ 電気部品、配線、電気のケーブル
- ❏ 油圧ユニット、タンク、ホース、フィッティング、シリンダー、マニホールド
- ❏ バッテリーパックと接続
- ❏ モーター
- ❏ 磨耗板
- ❏ タイヤとホイール
- ❏ グラウンドストラップ
- ❏ リミットスイッチ、アラームおよびホーン
- ❏ ナット、ボルトおよびその他の締め具
- ❏ 作業台出入口チェインまたはゲート
- ❏ ビーコンと警報（搭載する場合）
- ❏ ブレーキ解除コンポーネント
- ❏ 安全アーム
- ❏ ポットホール・ガード
- ❏ 作業台延長部
- ❏ シザースピンと固定ファスナー
- ❏ 作業台操作ジョイスティック

機械全体をとおして下記をチェックします：

- ❏ 溶接や機械部品の割れ
- ❏ 機械のへこみや損傷
- ❏ 機械を構成している全ての部品が欠けておらず、適合するファスナーやピンが正しい位置にしっかりと締められた状態にあること
- ❏ 側面レールが設置され、ボルトが締まっていること
- ❏ シャーシ台が正しい位置に設置され、ラッチで留められ、適切に接続されていること

メンテナンス

必ず従うこと：

☑ オペレータは、この説明書に記載してある通常のメンテナンス項目のみを行います。

☑ 定期保守点検は、認定されているサービス担当者が、製品仕様と責務マニュアルに記載している要項に基づいて行ってください。

メンテナンス記号の説明

注意 指示の目的をわかりやすくするため、本マニュアルでは以下のシンボルが使用されています。 メンテナンス手順のはじめに記載されているシンボルは、次を意味しています。

この手順を行うために、工具が必要です。

この手順を行うために、新たな部品が必要です。

作動油量の点検

作動油量を適切なレベルにしておくことは機械操作にとって非常に重要です。 作動油量が適切でない場合、油圧部品に損傷を与えることがあります。 点検担当者は作動油量を毎日チェックすることにより、作動油量に変化があった場合、油圧システムにおける問題を早期に見つけることができます。

注意 この作業は、作業台が収縮した状態で行ってください。

1 油圧タンクのオイル量を目視点検します。

⊙ 結果： オイル量は、タンクの FULL（満タン）マークを指している必要があります。

2 必要に応じてオイルを追加します。 このときに溢れないようにしてください。

作動油の仕様	
作動油タイプ	Chevron Rykon Premium MV に相当

メンテナンス

バッテリーのチェック

バッテリーを適切な状態に保つことは、機械の性能を保ち、安全に操作するために重要です。不適切な液量、あるいはケーブルや接続の損傷は、部品の故障につながり、危険な状態を招くおそれがあります。

注意 密封型またはメンテナンス不要のバッテリーを搭載する機械では、この手順は必要ありません。

⚠ 警告 感電の危険。 熱くなっている回路やライブ回路に触れると、重傷を負ったり死に至ることがあります。 指輪、時計、その他貴金属を全て外してください。

⚠ 警告 人体への障害の危険。 バッテリーには酸が含まれています。バッテリーの酸をこぼしたり酸に触れないようにしてください。バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水で中和してください。

注意 このテストはバッテリーを完全に充電してから行ってください。

1 保護服と保護メガネを着用してください。

2 バッテリーケーブルがしっかりと接続され、腐食していないことを確認します。

3 バッテリー固定バーが適切に配置されていることを確認します。

4 バッテリー通気孔のキャップをとります。

5 各バッテリーの酸の量を確認します。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

6 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

定期保守点検

四半期ごと、1 年ごと、2 年ごとに行われる保守点検は、本装置のメンテナンストレーニングを受け認定されている担当者が、サービスマニュアルの手順に従って行わなければなりません。

3ヶ月以上使用されていない機械は、再び使用する前に必ず四半期点検を行う必要があります。

機能テスト

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

次のセクションに進む前に、機能テストについてよく理解してください。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

機能テストは、機械を使用する前に故障を見つけることを目的としています。 オペレータは、指示された手順に従って、全ての機能をテストしてください。

故障している機械は決して使用しないでください。 故障が見つかった場合は、故障の貼り紙を付けて作業を中止してください。 機械の修理は、認定を受けたサービス担当者のみが製品仕様に基づいて行ってください。

修理が終了したら、オペレータは機械を使用する前に再び操作前の点検を行い、続いて機能テストを行ってください。

1 障害物がなく、水平で安定している場所でテストを行ってください。

2 バッテリーパックが接続されていることを確認します。

地上操作

3 作業台操作と地上操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて、ON にします。

4 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

5 診断 LED の計測値を確認します。

⊙ 結果： LED は「23」または「--」を示しているはずです。

非常停止のテスト

6 地上の赤色非常停止ボタンを押して OFF にします。

⊙ 結果： 機能は何も作動しません。

7 赤色非常停止ボタンを引いて ON にします。

機能テスト

上昇/下降機能のテスト

この機械の警告音と標準ホーンは、すべて同じ中央アラームから発せられます。 ホーンは継続音です。 下降アラームは毎分 60回のビープ音を鳴らします。 ポットホール・ガードが位置についていないことを警告するアラームは、毎分 300回のビープ音を発します。 機械が水平でないことを警告するアラームは、毎分 600回のビープ音を発します。 オプションで自動車のクラクションと同様のホーンを搭載することもできます。

8 上昇機能を作動します。

⊙ 結果： 作業台が上昇します。

9 下降機能を作動します。

⊙ 結果： 作業台が下降します。 作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

補助降下のテスト

10 上昇機能を作動し、作業台を約 60 cm 上昇させます。

11 出入り口はしごの後ろにある補助下降ノブを引きます。

⊙ 結果： 作業台が下降します。 下降アラームは鳴りません。

12 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

作業台操作

非常停止のテスト

13 作業台の赤色非常停止ボタンを押して OFF にします。

⊙ 結果： 機能は何も作動しません。

警報のテスト

14 赤色非常停止ボタンを引いて ON にします。

15 警報ボタンを押します。

⊙ 結果： 警報が鳴ります。

機能作動スイッチのテスト

16 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押さないでください。

17 コントロールハンドルを青い矢印の方向にゆっくりと動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果： 機能は何も作動しません。

上昇/下降機能のテスト

18 リフト機能セレクトボタンを押します。

19 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

20 コントロールハンドルを青の矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果： 作業台が上昇します。 ポットホール・ガードが位置につきます。

21 コントロールハンドルを離します。

⊙ 結果： 作業台の上昇が止まります。

22 機能作動ボタンを押したままにします。 コントロールハンドルを黄色の矢印の方向へゆっくりと動かします。

⊙ 結果： 作業台が下降します。 作業台が下降しているときには下降アラームが鳴ります。

ステアリングのテスト

注記： ステアリングと走行機能テストを実施する際、作業台上で機械のステアリング側に向かって立ってください。

23 走行機能セレクトスイッチを押します。

24 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

25 コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチを、操作パネルの青い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果： ステアリングホイールが操作パネル上の青い三角が示す方向に回ります。

26 ロッカースイッチを、操作パネルの黄色い三角の示す方向に押し下げます。

⊙ 結果： ステアリングホイールが操作パネル上の黄色い三角が示す方向に回ります。

走行とブレーキのテスト

27 機能作動ボタンを押したままにします。

28 コントロールハンドルを操作パネルの青い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果： 機械が操作パネルの青い矢印の方向に動き、急停止します。

29 コントロールハンドルを操作パネルの黄色い矢印の方向に機械が動き始めるまでゆっくりと動かしたあと、ハンドルを中央位置まで戻します。

⊙ 結果： 機械が操作パネルの黄色い矢印の方向に動き、急停止します。

注記： ブレーキは、機械が登ることのできるすべての斜面上で機械を止める能力を持っている必要があります。

機能テスト

走行制限速度のテスト

30 リフト機能セレクトボタンを押します。

31 機能作動ボタンを押したままにします。 作業台を地上約 1.2 m の高さまで上げます。

⊙ 結果： ポットホール・ガードが位置につきます。

32 走行機能セレクトスイッチを押します。

33 機能作動ボタンを押したままにします。 コントロールハンドルをゆっくりとフル走行の位置に動かします。

⊙ 結果： 作業台が上昇した状態での最大走行速度は 秒速 20 cmを越えてはいけません。

作業台を上げたままの状態の走行速度が秒速 20 cm 以上の場合、直ちに故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

傾斜センサーのテスト

注記： このテストは地上から作業台操作で行ってください。 作業台には立たないでください。

34 作業台を完全に下げます。

35 木片を、機械片側の 2つのタイヤの下に置きます。

36 作業台を地上約 2.1 m の高さまで上げます。

⊙ 結果： 作業台が止まり、傾斜アラームが毎分600回のビープ音を鳴らします。

37 走行コントロールハンドルを青い矢印の方向に動かしたあと、黄色い矢印の方向に動かします。

⊙ 結果： 走行機能はどちらの方向にも作動しません。

38 作業台を下げ、両方の木片を取り除きます。

ポットホール・ガードのテスト

注記： 作業台が上昇するとポットホール・ガードが自動的に位置につきます。 ポットホール・ガードがリミットスイッチを作動させ、機械は引き続き機能します。 ポットホール・ガードが位置につかないときはアラームが鳴り、機械は走行しません。

39 作業台を上昇させます。

⊙ 結果： 作業台が地上約 1.2 m に上がったら、ポットホール・ガードが位置につきます。

40 片側のポットホール・ガードを押し、その後もう一方を押します。

⊙ 結果： ポットホール・ガードは動きません。

41 作業台を下げます。

⊙ 結果： ポットホール・ガードが閉じた状態になります。

42 木片をポットホール・ガードの下に置きます。 作業台を上昇させます。

⊙ 結果： 作業台が 2.1 m に上昇する前に、アラームが鳴り走行機能は動作しません。

43 作業台を下げ、木片を取り除きます。

作業場の点検

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

次のセクションに進む前に、作業場の点検についてよく理解してください。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

作業場を点検することによって、オペレータは作業場が安全に機械を操作するのに適しているかどうかを判断することができます。 作業場の点検は、作業場に機械を移動する前に行わなければなりません。

オペレータは作業場で起こりうる危険を心得たうえ、機械の移動、セットアップ、運転時に注意を払い、危険を避けてください。

作業場の点検

次の危険な状態に注意し、避けてください：

- 急に低くなっているところ、くぼみ
- でこぼこした道、床の障害物もしくは破片
- 傾斜面
- 不安定な地面、滑りやすい地面
- 頭上の障害物、高圧送電線
- 危険な場所
- 機械の重量に耐えられない地面
- 風や天候の状態
- 関係作業員以外の人物の存在
- その他に起こる可能性のある危険な状態

操作手順

操作を行う必須条件：

☑ 本操作説明書の安全な機械操作の原則を学び、実施する。

1 危険な状態での使用を避ける。

2 常に操作前の点検を行う。

3 使用する前に常に機能テストを行う。

4 作業場を点検する。

5 決められた用途にのみ機械を使用する。

原則

操作手順のセクションでは、機械操作の手順を説明しています。 安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順に従うことは、オペレータの任務です。

機械を、人や工具を高所作業場まで上げる目的以外で使用することは危険です。

トレーニングを受け認定された担当者のみ機械を操作することが許されています。 2人以上のオペレータが同じ勤務時間内で異なる時間帯に機械を使用する場合、すべてのオペレータが資格を有し、安全規則やオペレータの安全および責務マニュアルの手順にすべて従わなければなりません。 すなわちオペレータが交替するたびに、次のオペレータが機械の操作前に、操作前点検、機能テスト、作業場点検を行う必要があります。

非常停止

地上もしくは作業台操作の赤色非常停止ボタンを押して OFF にし、すべての機能を停止します。

非常停止ボタンが押されている状態で作動している機能は、修理する必要があります。

補助降下

1 補助下降ノブを引きます。

地上からの操作

1 キースイッチを回して地上操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ON にします。

3 機械の操作前にバッテリーパックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける

1 操作パネルのマークに従って、切り替えスイッチを上下に動かします。

走行とステアリング機能は地上操作から操作できません。

作業台からの操作

1 キースイッチを回して作業台操作に切り替えます。

2 地上操作と作業台操作の両方の赤色非常停止ボタンを引いて ONします。

3 機械の操作前にバッテリーパックが接続されていることを確認します。

作業台を位置につける

1 リフト機能セレクトボタンを押します。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 操作パネルのマークにしたがって、コントロールハンドルを動かします。

ステアリング

1 走行機能セレクトボタンを押します。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 コントロールハンドルの先端にあるロッカースイッチ使って、ステアリングホイールを回します。

走行

1 走行機能セレクトボタンを押します。

2 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。

3 速度を上げる： コントロールハンドルを中心の位置からゆっくりと動かします。

速度を下げる： コントロールハンドルを中心の位置に向かってゆっくりと動かします。

停止する： コントロールハンドルを中心に戻すか、または、機能作動スイッチを放します。

作業台操作と作業台の色別された方向矢印を使って、機械の進む方向を確認してください。

作業台が上がった状態では走行スピードが制限されています。

バッテリーの状態は機械の性能に影響します。バッテリー低下表示ランプが点灯している場合、またはバッテリーレベル表示器の最後のランプが点滅している場合は、機械走行速度と機能速度が低減します。

操作手順

エラー表示ランプが点灯している場合

エラーランプがついている時は、赤色非常停止ボタンを押すか引いて、システムをリセットしてください。

ランプがついたままの状態の場合は、故障中の貼り紙をつけて機械の使用を中止してください。

作業台の延長と収納

1 作業台の踏み板にある作業台延長解除ペダルを踏みます。

2 作業台の手摺りを注意を払いながら握り、中間停止位置まで押して、作業台を延長します。

3 再び解除ペダルを踏んで作業台が完全に延長されるまで押します。

作業台を延長している時は、作業台の延長部分に立たないでください。

4 作業台延長解除ペダルを踏んで引き、作業台を中央停止位置まで収納します。 もう一度踏んで作業台を完全に収納します。

落下防止

この機械を操作するとき、落下防止装置 (PFPE) の着用は必要ありません。 PFPE が作業場規約や従業員規約で義務付けられている場合、以下が適用されます:

PFPE はすべて適合する法規に準拠したもので、製品使用説明書の指示に従って点検され使用されなければなりません。

コントローラを使った地上からの操作

オペレータ、機械、固定物の間は、安全な距離を保ってください。

コントローラを使う際に機械が走行する方向に注意してください。

使用後の注意

1 固い水平な地面で、障害物や人や車の往来のない、安全な格納場所を選んでください。

2 作業台を下げます。

3 キースイッチを OFF の位置に回し、関係者以外による使用をさけるためキーを取り外します。

4 輪止めをかまします。

5 バッテリーを充電します。

バッテリーと充電器の操作手順

必ず従うこと：

- ☑ 外部充電器またはブースターバッテリーを使用しないでください。
- ☑ よく換気された場所でバッテリーを充電してください。
- ☑ 充電器に表示されている適切な AC 入力電圧を使用してください。
- ☑ Genie 承認のバッテリーと充電器を使用してください。

バッテリーの充電

1 充電前にバッテリーが接続されていることを確認してください。

2 バッテリーのコンパートメントを開けます。コンパートメントは充電中ずっと開けておきます。

3 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー液の量をチェックします。 必要に応じてプレートがかくれる程度に蒸留水を入れます。 充電の前には液を入れすぎないでください。

4 バッテリー通気孔のキャップを取り付け直します。

5 アース付き 3 ピン AC 回路に充電器を接続します。

6 バッテリーが完全に充電されると、充電器に表示されます。

7 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

乾式バッテリーの液注入と充電の手順

1 バッテリー通気孔のキャップをとり、バッテリー通気孔開口部のプラスチックシールを取り除きます。

2 それぞれのセルにプレートがかくれるのに十分な程度のバッテリー液 (電解液) を入れます。

バッテリー充電のサイクルが終了するまでは、バッテリー液をいっぱいに入れないでください。入れすぎると、充電中に液が溢れることがあります。 バッテリー液がこぼれた場合は重曹と水で中和してください。

3 バッテリー通気孔のキャップをつけます。

4 バッテリーを充電します。

5 充電が終了したらバッテリー液の量をチェックします。 必要に応じてバッテリーチューブの底に蒸留水を補給します。 このときに溢れないようにしてください。

ステッカー

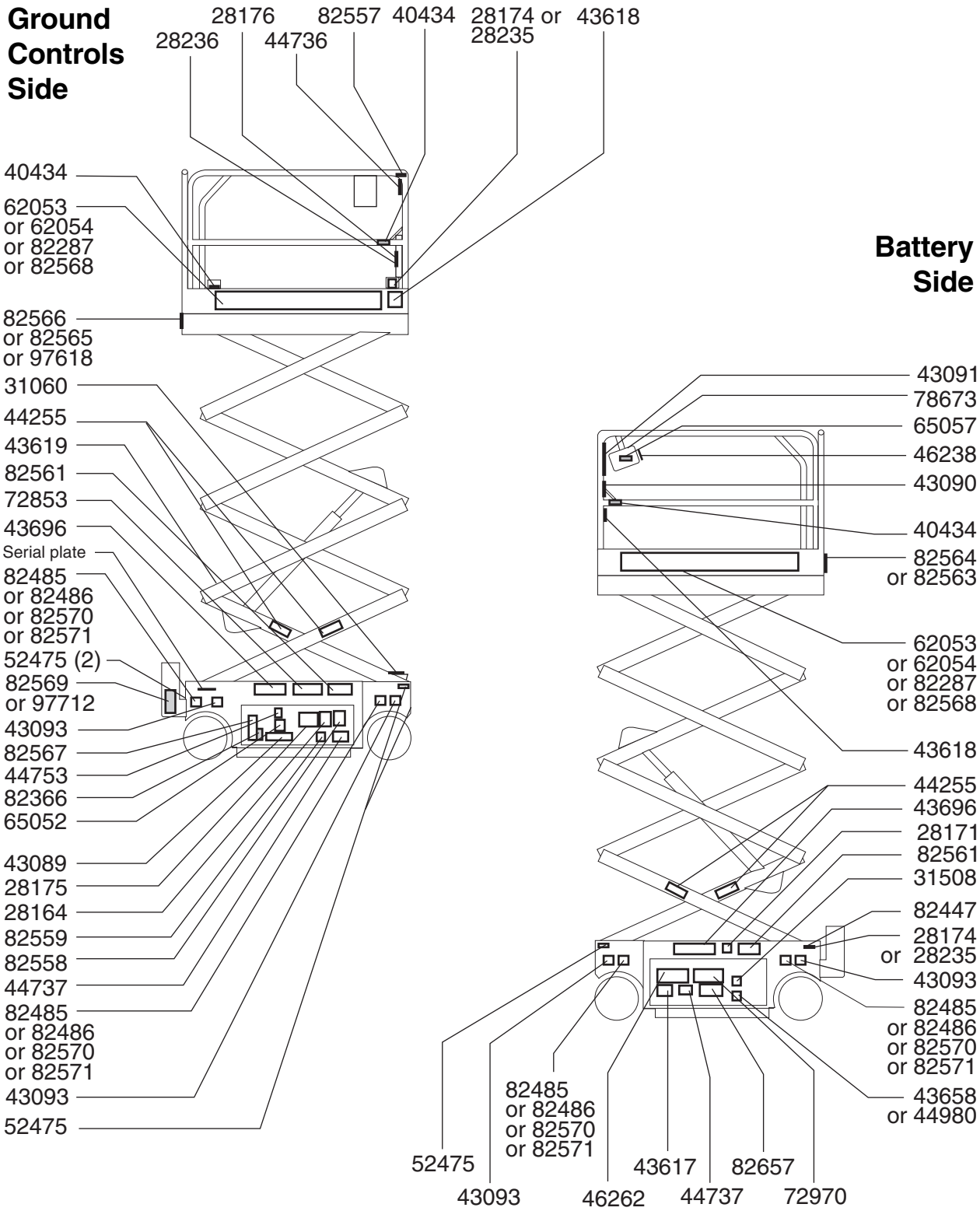
警告用語のついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

Part No.	Description	Quantity
28164	Notice - Hazardous Materials	1
28171	Label - No Smoking	1
28174	Label - Power to Platform, 230V	2
28175	Caution - Compartment Access	1
28176	Notice - Missing Manuals	1
28235	Label - Power to Platform, 115V	2
28236	Warning - Failure To Read . . .	1
31060	Danger - Do Not Alter Limit Switch	1
31508	Notice - Power to Battery Charger	1
40434	Label - Lanyard Anchorage	3
43089	Notice - Operating Instructions, Ground	1
43090	Notice - Operating Instructions, Platform	1
43091	Danger - General Safety Rules	1
43093	Notice - Tire Specification	4
43617	Danger - Tip-over (batteries)	1
43618	Label - Directional Arrows	2
43619	Label - Safety Arm	1
43658	Label - Power to Charger, 230V	1
43696	Danger - Electrocution Hazard	2
44255	Danger - Crushing Hazard	4
44736	Danger - Tilt Alarm	1
44737	Danger - Tip-over, Trays Open	2
44753	Label - LED Diagnostic Readout	1
44980	Label - Power to Charger, 115V	1
46238	Notice - Error Indicator Light	1
46262	Danger - Battery/Charger Safety	1
52475	Label - Transport Tie-down	5
62053	Cosmetic - Genie GS-1530	2
62054	Cosmetic - Genie GS-1930	2
65052	Label - ECM Fault Codes	1
65057	Label - Controller Indentification	1
72853	Danger - Improper Use Hazard	1
72970	Notice - Battery Charger Operating Instructions	1
78673	Platform Control Panel	1
82287	Cosmetic - Genie GS-1932	2
82366	Label - Chevron Rykon	1
82447	Label - Auxiliary Lowering	1
82485	Label - Wheel Load, GS-1530	4
82486	Label - Wheel Load, GS-1930	4
82557	Label - Platform Controls Location	1
82558	Warning - Skin Injection Hazard	1
82559	Notice - Annual Inspection	1
82561	Danger - Crushing Hazard	2
82563	Notice - Max Cap 500 lbs / 227 kg*	1
82564	Notice - Max Cap 600 lbs / 272 kg*	1
82565	Notice - Side Force, 100 lbs / 445 N, ANSI & CSA	1
82566	Notice - Manual Force, 200 lbs / 400 N Australia	1
82567	Ground Control Panel	1
82568	Cosmetic - Genie GS-1532	2
82569	Danger/Notice - Brake Release Safety & Operating Instructions	1
82570	Label - Wheel Load, GS-1532	4
82571	Label - Wheel Load, GS-1932	4
82657	Notice - Battery Connection Diagram	1
97618	Notice - Manual Force, 200 lbs / 400 N, Indoor Use Only, Australia	1
97712	Danger/Notice - Brake Release Safety & Operating Instructions	1

*Please reference the chart on page 2 to determine the capacity of your machine.

ステッカー


Ground Controls Side
28176
82557
40434
28174 or 28235
43618
28236
44736
40434
62053 or 62054 or 82287 or 82568
82566 or 82565 or 97618
31060
44255
43619
82561
72853
43696
Serial plate
82485 or 82486 or 82570 or 82571
52475 (2)
82569 or 97712
43093
82567
44753
82366
65052
43089
28175
28164
82559
82558
44737
82485 or 82486 or 82570 or 82571
43093
52475
Battery Side
43091
78673
65057
46238
43090
40434
82564 or 82563
62053 or 62054 or 82287 or 82568
43618
44255
43696
28171
82561
31508
82447
28174 or 28235
43093
82485 or 82486 or 82570 or 82571
43658 or 44980
52475
43093
82485 or 82486 or 82570 or 82571
46262
43617
44737
82657
72970

ステッカー

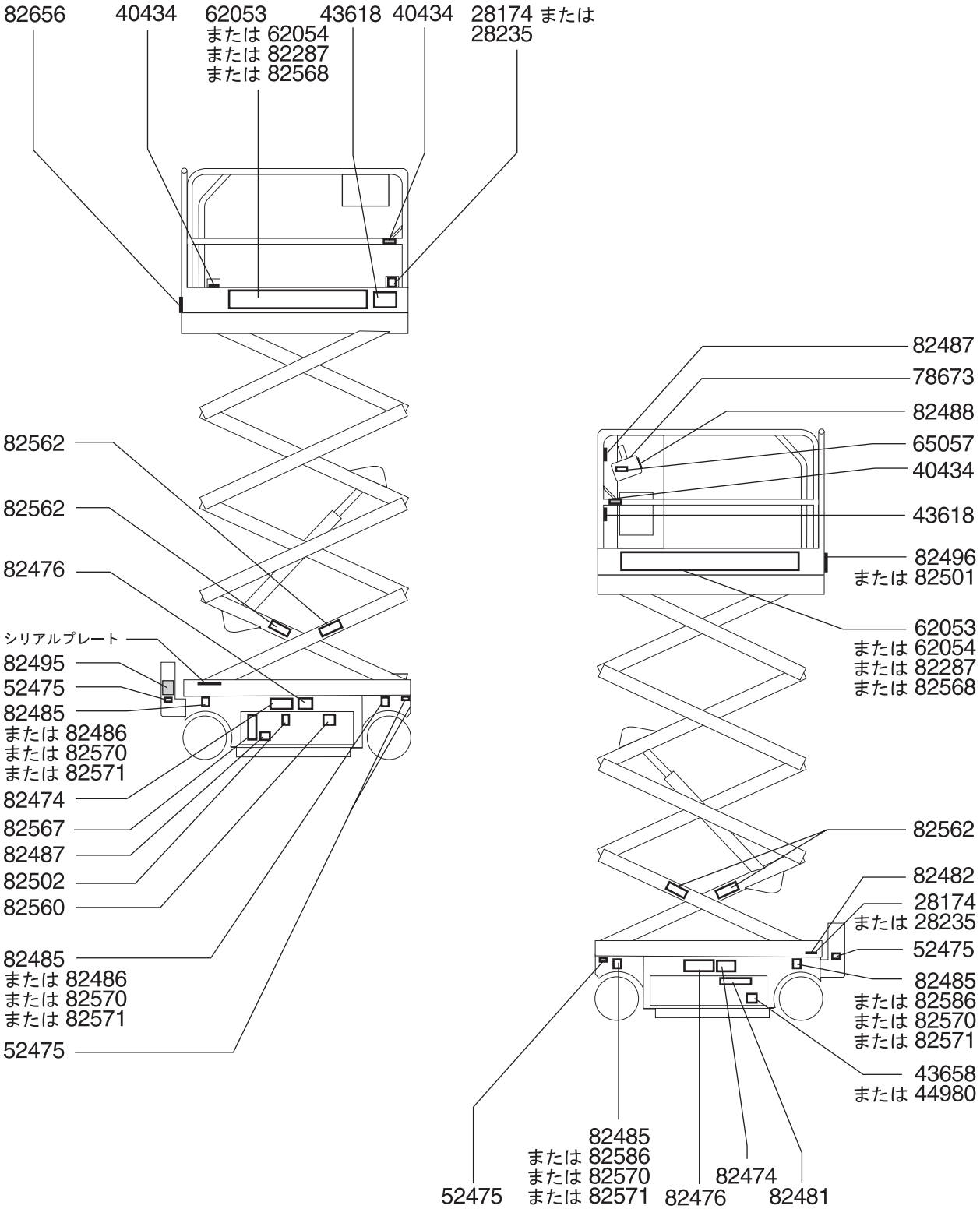
シンボルのついたステッカーの点検

機械に貼られているステッカーの警告用語やシンボルを確認します。 ステッカーの文字がすべて読める状態で所定の位置に貼られていることを確認してください。

品番	名称	数量
28174	ラベル - 作業台への電力 230V	2
28235	ラベル - 作業台への電力 115V	2
40434	ラベル - 安全帯固定箇所	3
43618	ラベル - 方向矢印	2
43658	ラベル - 充電器への電力 230V	1
44980	ラベル - 充電器への電力 115V	1
52475	ラベル - 輸送用の荷締め	5
62053	外装 - Genie GS-1530	2
62054	外装 - Genie GS-1930	2
65057	ラベル - コントローラの識別	1
78673	作業台操作パネル	1
82287	外装 - GS-1932	2
82472	警告 - 落下の危険	1
82474	警告 - 安全輪止め	2
82476	危険 - 感電の危険	2
82481	危険 - バッテリー/充電器の安全	1
82482	ラベル - 補助下降	1
82485	ラベル - 輪荷重, GS-1530	4
82486	ラベル - 輪荷重, GS-1930	4
82487	注意 - 操作手順	2
82488	注意 - エラーランプ	1
82495	危険 - ブレーキ解除 安全及び操作手順	1
82496	危険 - 最大積載量 227 kg*	1
82501	危険 - 最大積載量 272 kg*	1
82502	ラベル - LED 診断計測値	1
82560	警告 - 皮膚への噴射の危険	1
82562	危険 - 落下の危険	4
82567	地上操作パネル	1
82568	外装 - GS-1532	2
82570	ラベル - 輪荷重, GS-1532	4
82571	ラベル - 輪荷重, GS-1932	4
82656	危険 - 外圧、447 N	1

* 2 ページの表を参照して、ご使用の機械の最大積載荷重量を確認してください。

ステッカー


82656
40434
62053
または 62054
または 82287
または 82568
43618
40434
28174 または
28235
82562
82562
82476
シリアルプレート
82495
52475
82485
または 82486
または 82570
または 82571
82474
82567
82487
82502
82560
82485
または 82486
または 82570
または 82571
52475
82487
78673
82488
65057
40434
43618
82496
または 82501
62053
または 62054
または 82287
または 82568
82562
82482
28174
または 28235
52475
82485
または 82586
または 82570
または 82571
43658
または 44980
52475
82485
または 82586
または 82570
または 82571
82476
82474
82481

輸送およびリフトの手順

必ず従うこと：

- ☑ クレーンやフォークリフトで機械を持ち上げるときは、常識的な判断と手順をもって機械の動きをコントロールしてください。
- ☑ 運搬車は平坦な地面に駐車してください。
- ☑ 機械を載せるときは、動かないよう輸送車両を固定してください。
- ☑ 車両の積載荷重量、積載位置、チェインやストラップが機械の重量に十分に耐えうるものであることを確認してください。 機械の重量についてはシリアルプレートをご覧ください。
- ☑ ブレーキを解除する場合は、必ず機械を水平な地面に止めるか固定してから行ってください。
- ☑ スナップピンを外すとき、手摺りが落ちないようにしてください。 手摺りが下げられているときは、しっかりと手摺りを抑えてください。

ブレーキ解除操作

1 機械が動かないよう輪止めをかましてください。

2 シャーシの荷締め個所にウィンチラインがしっかりと固定され、軌道に障害物が無いことを確認します。

3 **シリアル番号 GS04-65105 以前の機種：**
黒いブレーキ解除ノブを半時計回りに回して、ブレーキ弁を開けます。

シリアル番号 GS04-65104 以降の機種：
黒いブレーキ解除ノブを押して、ブレーキ弁を開けます。

4 赤いブレーキ解除ポンプノブを押します。

機械を載せた後：

1 機械が動かないよう輪止めをかまします。

2 **シリアル番号 GS04-65105 以前の機種：**
ブレーキ解除ノブを時計回りに回して、ブレーキ弁を閉めます。

シリアル番号 GS04-65104 以降の機種：
走行機能セレクトボタンを押します。 コントロールハンドルの機能作動スイッチを押したままにします。 コントロールハンドルを中心の位置から動かし、ブレーキをリセットします。

Genie GS-1530、GS-1930、GS-1532 および GS-1932 の牽引は推奨されていません。 牽引しなければならない場合は、時速 3.2 km を越えないでください。

必ず従うこと：

- ☑ 認定されているリガーを使用して、リギングおよびリフトを行ってください。
- ☑ クレーンの積載荷重量、積載面、ストラップやラインが機械の重量に十分に耐えうることを確認してください。 シリアルプレートを参照してください。

重心	X 軸	Y 軸
GS-1530	65.3 cm	59.6 cm
GS-1532	49.8 cm	47.2 cm
GS-1930	64.8 cm	56.1 cm
GS-1932	50.8 cm	49.5 cm

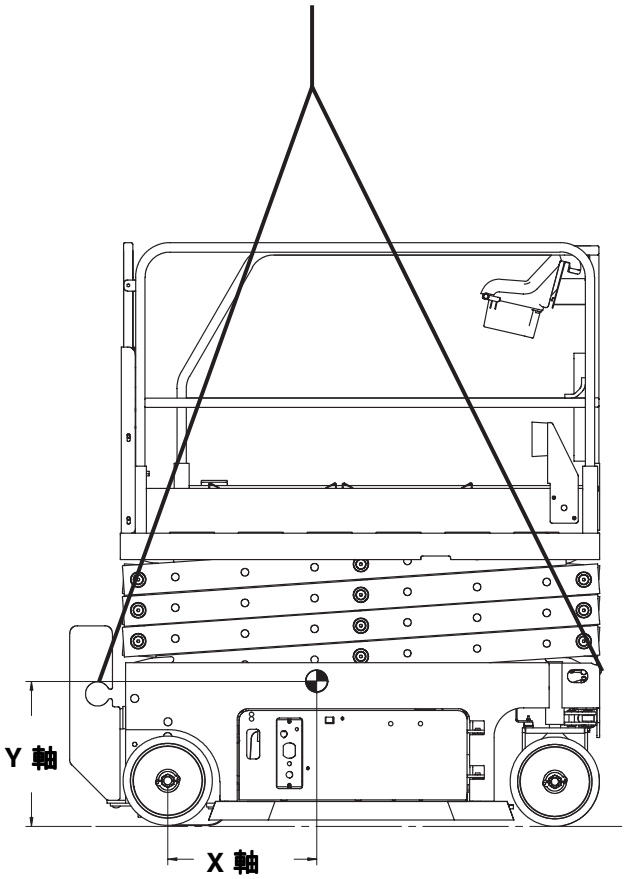
リフトの手順

作業台を完全に下げます。 延長デッキ、操作台および部品が安全な状態であることを確認してください。 機械に緩んでいる個所がないことを確認してください。

このページの表と絵で機械の重心を確認してください。

リギングは、指定されている機械の吊り上げ点にのみ取り付けます。 リフト用に、機械の前面とはしごに直径 2.5 cm の 穴が 2 個ずつ用意されています。

機械が損傷しないよう、また、機械の水平状態を保つためにリギングを調節してください。



輸送およびリフトの手順

輸送用トラックあるいはトレーラーへの固定

機械を輸送する際は、必ず延長デッキロックを使用してください。

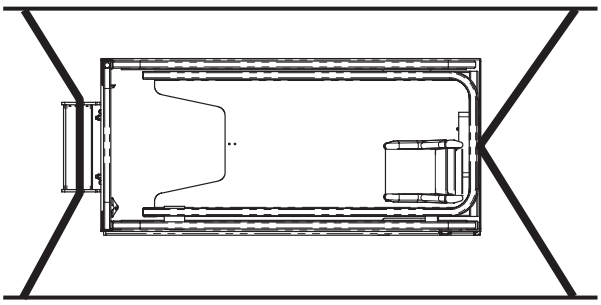
輸送の前にキースイッチを OFFの位置に回し、キーを取り外してください。

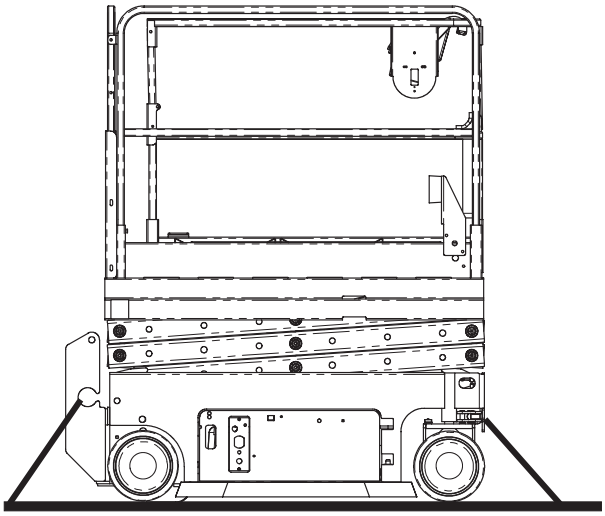
緩んでいたり固定されていない箇所がないか、機械全体を点検します。

チェインやストラップは、積載荷重量に十分耐えうるものを使用してください。

最低でも 2 組のチェイン、またはストラップを使用してください。

チェインの損傷を防ぐためにリギングを調節してください。





仕様

モデル	GS-1530
高さ、操作時最大	6.4 m
高さ、作業台最大	4.6 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	1.96 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.92 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	97 cm
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	76.2 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	272 kg
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
最低地上高さ	6.1 cm
最低地上高さ ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
登坂能力	30%
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	<70 dB

電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
制御	比重
作業台寸法、 （奥行き×幅）	1.6 m x 74 cm
作業台延長部長さ	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
走行速度	
収納時、最大	4.0 km/時
作業台 上昇時、最大	0.8 km/時 12.5 m/55 秒
床荷重表	
GVW ＋ 許容荷重	1435 kg
最大軸荷重	1050 kg
最大輪荷重	525 kg
タイヤごとの局部圧力	9.06 kg/cm^2 889 kPa
車体使用面積当りの圧力	9.19 kPa

注記：床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

モデル	GS-1930
高さ、操作時最大	7.6 m
高さ、作業台最大	5.8 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	1.99 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを下げた状態	1.95 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	1.0 m
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	76.2 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	227 kg
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
最低地上高さ	6.1 cm
最低地上高さ ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
登坂能力	30%
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	<70 dB

電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
制御	比重
作業台寸法、 （奥行き×幅）	1.6 m x 74 cm
作業台延長部長さ	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
走行速度	
収納時、最大	4.0 km/時
作業台 上昇時、最大	0.8 km/時 12.5 m/55 秒
床荷重表	
GVW ＋ 許容荷重	1458 kg
最大軸荷重	1024 kg
最大輪荷重	512 kg
タイヤごとの局部圧力	8.8 kg/cm^2 862 kPa
車体使用面積当りの圧力	9.7 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

モデル	GS-1532
高さ、操作時最大	6.4 m
高さ、作業台最大	4.6 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	2.02 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを折りたたんだ状態	1.73 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	97 cm
高さ、手摺り	1.1 m
幅	81.3 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	272 kg
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
最低地上高さ	6.1 cm
最低地上高さ ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
登坂能力	30%
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	<70 dB

電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
制御	比重
作業台寸法、 （奥行き×幅）	1.6 m x 74 cm
作業台延長部長さ	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
走行速度	
収納時、最大	4.0 km/時
作業台 上昇時、最大	0.8 km/時 12.5 m/55 秒
床荷重表	
GVW ＋ 許容荷重	1510 kg
最大軸荷重	1092 kg
最大輪荷重	546 kg
タイヤごとの局部圧力	9.4 kg/cm^2 924 kPa
車体使用面積当りの圧力	9.13 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

仕様

モデル	GS-1932
高さ、操作時最大	7.6 m
高さ、作業台最大	5.8 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを上げた状態	2.11 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りを収納した状態	1.76 m
高さ、作業台収納時最大 手摺りなし	1.0 m
高さ、手摺り	99.1 cm
幅	81.3 cm
奥行き、作業台収納時	1.82 m
奥行き、作業台延長時	2.73 m
最大積載荷重	227 kg
ホイールベース	1.32 m
旋回半径 (外径)	1.55 m
旋回半径 (内径)	0 cm
最低地上高さ	6.1 cm
最低地上高さ ポットホール・ガード展開	1.9 cm
重量 (機械の重量は、オプション構成により異なります。)	シリアルプレートを参照
登坂能力	30%
機械による騒音 標準的な作業場での最大音量（騒音レベル）	<70 dB

電源	バッテリー x 4, 6V 225AH
システム電圧	24V
制御	比重
作業台寸法、 （奥行き×幅）	1.6 m x 74 cm
作業台延長部長さ	90.4 cm
作業台 AC コンセント	標準
最大油圧力 (機能)	241 バール
タイヤサイズ	12 x 4.5 x 8 インチ
走行速度	
収納時、最大	4.0 km/時
作業台 上昇時、最大	0.8 km/時 12.5 m/55 秒
床荷重表	
GVW ＋ 許容荷重	1730 kg
最大軸荷重	1163 kg
最大輪荷重	582 kg
タイヤごとの局部圧力	9.98 kg/cm^2 979 kPa
車体使用面積当りの圧力	11.3 kPa

注記： 床荷重表は概算値であり、オプションによる構成の違いを考慮したものではありません。安全上の要素を考慮して使用してください。

Genie では製品の改良を重ねていくことを方針としています。
製品の仕様は予告なく変更することがあります。

代理店：

Genie North America
Tel. 425.881.1800
フリー ダイアル 米国およびカナダ 800.536.1800
Fax 425.883.3475

Genie Australia Pty Ltd.
Tel. +61 7 3375 1660
Fax +61 7 3375 1002

Genie China
Tel. +86 21 53852570
Fax +86 21 53852569

Genie Malaysia
Tel. +65 98 480 775
Fax +65 67 533 544

Genie Japan
Tel. +81 3 3453 6082
Fax +81 3 3453 6083

Genie Korea
Tel. +82 25 587 267
Fax +82 25 583 910

Genie Brasil
Tel. +55 11 41 665 755
Fax +55 11 41 665 754

Genie Holland
Tel. +31 10 220 7911
Fax +31 10 220 6642

Genie Scandinavia
Tel. +46 31 3409612
Fax +46 31 3409613

Genie France
Tel. +33 (0)2 37 26 09 99
Fax +33 (0)2 37 26 09 98

Genie Iberica
Tel. +34 93 579 5042
Fax +34 93 579 5059

Genie Germany
Tel. +49 (0)4202 88520
Fax +49 (0)4202 8852-20

Genie U.K.
Tel. +44 (0)1476 584333
Fax +44 (0)1476 584334

Genie Mexico City
Tel. +52 55 5666 5242
Fax +52 55 5666 3241